



●本日のプログラム

青少年奉仕の時間（提唱団体活動報告）

●2677 回例会（4/16）ニコニコボックス紹介 ♡大口 ◇トリプル ◎ダブル

河野 久しぶりの例会です

近藤 本日は、今後のクラブ活動の内容についてご意見をちょうだいしたく、よろしくお願いいたします

●幹事報告

1. 5 月のロータリーレートは、1 ドル 142 円です。
2. 甲府市教育委員会より「中学生の職場体験学習受け入れについて」の依頼が届きました。
期間は夏休みの令和 7 年 7 月 28 日から 8 月 22 日の間で原則 3 日間となっています。職場体験学習を通して勤労観・職業観を育成する貴重な機会となりますので、依頼があった際はご協力をよろしくお願いいたします。
3. ボーイスカウト甲府第 10 団発団記念行事の出欠について案内を回覧します。

●他クラブの例会変更

1. 甲府 RC 5 月 26 日（月） 特別休会
2. 甲府東 RC 5 月 2 日（金） 休会（祝日のある週のため）
5 月 23 日（金）→ 5 月 24 日（土）君津 RC と合同例会のため
点鐘：11 時 50 分 場所：シンフォニークルーズ

●2676 回例会（4/16）例会報告

クラブ行動計画策定

《第二段階：ビジョンの作成 - どのようなクラブになりたいのか？》

小林聰一郎パストガバナーアンケート回答

① どんな例会を開催したいですか？

RI は例会を含め柔軟性という言葉を使いながら、いろいろな縛りを緩めてきていますが、それによってクラブの居心地が良くなったかと言えば、決してそうではありません。むしろ主体性のないクラブが出来上がってきているのではないかと。例会も然り。それは「楽なほうに流れる」人間の習性のようなもので、「やらなくてよいことはやらない」「お金を出さなくてもよければ出さない」流のロータリアンを作っただけではなかったでしょうか。

当然例会は、会員みんなで作るものです。出ても出なくてもよい例会を何回重ねても、クラブ

を好きになりロータリーを好きになる、そんなクラブ例会には程遠いことになります。クラブの委員会活動を例にとれば、その年度の委員さんとの話し合いや実施に向けての準備、実施運営についての連携など、委員同士が仲良くなる仕掛けがあります。そして次の年度では違う委員会に属し、そこでも委員同士の交流が生まれます。そうして順次仲良しを作っていく仕掛けがクラブの委員会には隠されています。クラブリーダーはそれを上手にを使って、仲良く楽しい委員会活動にしたり、皆で作っていく仲良しクラブにしていくことができます。例会はそれらを作っていく装置です。

山梨 RC の行動計画を見るとその違いがはっきりとみて取れます。彼らはロータリアン個人とクラブが、何をするのか、何をするとところなのかきっちりと理解し、きっちり運営してその実現を目指し、きっちりと皆で参加し、成果を上げようとしています。

甲府北 RC を含め、多くの日本においてのクラブは、例会こそが、人間を作る場、真のロータリアンを育てる場であると理解し、その基本部分にロータリーの考え方・理念を置いて、それを行動に結びつけようとしてきました。あえて奉仕などと言わなくても、ロータリアンの心からの行動が結果的に奉仕につながるような、そんなロータリーを目指してきたのだらうと思います。そしてそれは「なぜロータリーに在籍するのか？」の答えそのものであると考え、だからこそきちっと考え、きちっと理解し、きちっと行動してきたのだらうと思います。かつての甲府北 RC 会員も同じでした。

RI のいう柔軟性は「こうしてもいいですよ」という程度のことです。自分たちのクラブの在り方は自分たちが決める。月に最低 2 回は開催しましょうと言われても、いや今まで通り毎週例会を開きます、とクラブ細則に書けば、4 回開催してもよいわけで、そのほうがクラブにとって相応しいと思えば、そうすればよいのです。4 回開くことが会員同士の絆を深め、活動を活発化させ、居心地のいいクラブになると判断すれば、そうすればよい。当然 2 回でよい、3 回でよいという判断もあります。その回数で、クラブとしての機能を有効に働かせることが出来る凝縮した例会運営にどうすればいいのか、クラブリーダーはよく考えて運営してください。つまり中身の充実です。会長は毎回挨拶してロータリー情報を伝える、会員卓話の機会がある、聞きたい外部卓話が聞ける、皆で話し合う機会が多くある……毎回会員が出席してよかったと言えるような中身の濃い例会に、どうすれば出来るのか？よくお考え下さい。クラブ求心力を高め、ロータリーを学び、会員同士仲良く、皆で活動できるクラブにするための例会にしてください。繰り返しますが、例会は会員皆で作っていくものです。

どんな奉仕事業に取り組みたいですか？

- ② 上記のような例会から自然発生的に出てくる事案の支援または解決にむけた奉仕活動。

会員が必要を感じる課題でなければ、お仕着せの、言われたからやる活動になりがちになります。他の団体・組織が今やっている活動に相乗りすることの多い当クラブの活動ですが、そうではなく、甲府北 RC が自分たちのクラブ独自の奉仕活動として実施することのできる、甲府北が主体となってやっていく奉仕活動を、例会での話し合いで抽出し、その準備を含めて自分のクラブのオリジナリティとしての奉仕活動に仕立てていく、その準備をも楽しめるような、皆で作っていく奉仕活動を目指しましょう。活動する一人一人が主体者であるという意識を例会で醸成し、クラブを前に進めていきましょう。